

No.519

学園報

九州産業大学 九州産業大学造形短期大学部

2026.9.30

CONTENTS

FD研修会を開催しました 01

ダイバーシティ推進室主催のイベントを開催しました 02

KYUSAN NEWS・雑報 03

歴史にすわるpart7 - すわって楽しむ名作椅子とアート -

会期:2026年9月19日(土)~11月3日(火・祝)

FD研修会を開催

生成AIで変わる学びと評価

9月9日(水)、大学改革推進本部主催による2026年度第1回FD研修会をオンラインで開催しました。今回は、[Manabie Japan 合同会社](#) CEOの本間拓也氏を講師に迎え「生成AIを活用した形成的評価の実践」をテーマに、AIチューターが実現する個別最適化学習と自律的学習の深化を中心に、教育現場における生成AI活用の現状や将来展望について講演いただきました。

講演では、国内外の教育機関における生成AI活用について、学習の途中段階で適切なフィードバックを行う「**形成的評価**」の重要性について事例を交えながら解説がありました。また、**生成AIは教員に代わる存在ではなく、教員が学生一人ひとりに向き合う時間を創出し、より質の高い教育を実現するためのツールであることが示されました。**



本間拓也氏

AIは、先生を代替しない。
先生の時間を、学生に返す。

さらに、AIチューターによる24時間対応の学修支援や類題生成、学修履歴の可視化などの機能、学生の主体的な学びを支援する仕組みについて理解を深めました。本学におけるアイデアの一例として、CLノートへのコメント作成支援やループリックを用いたレポート評価支援なども示され、生成AIを活用した新たな教育の可能性について考える機会となりました。

画面イメージ：定型の5類型が、学生ごとの文面に進化します

※開発構想のイメージ画面です（現行のK'sLife・CLノートの機能ではありません）。

K'sLife | CLノート（私の Campus Life ノート）コメント支援

将来構想イメージ

学生の振り返り（2Q）

出席率100%は継続中。簿記3級の勉強を始めたが、サークルとの両立で週の学習時間が減っている。3Qは通学時間をうまく活用したい。

今年度の目標

出席率100% 22単位修得 資格取得

AIコメント下書き（3案から選択）

承認+助言 共感 応援

出席率100%を2Qも継続、素晴らしい。簿記の停滞は「時間を増やす」より「固定枠」が最適です。通学の20分を仕訳練習に。まず1週間、試してみましょう。

編集して送信 定型コメントを使う

スタンプ・定型も従来どおり/送信前に必ず教員が確認

「子どもお仕事参観デー2026 in 九産大」を実施しました！

本学では、ダイバーシティ推進の取り組みの一環として、教職員のワーク・ライフ・バランスの充実と働きやすい職場環境づくりを推進しています。その取り組みの一つとして、小学生の夏休み期間中の8月25日（火）、「子どもお仕事参観デー 2026 in 九産大」を実施しました。

ドキドキ...！


たくさんの
お仕事
あるんだな～！

初めての
名刺交換！


当日、子どもたちは保護者とともに出勤し、所属部所での朝礼や職場見学を通じて、大学で働く教職員の仕事に触れました。その後のオリエンテーションでは、一日職員辞令の交付や名刺づくり、名刺交換を体験し、働く人同士のコミュニケーションについて学びました。

その後、図書館では仕事内容や施設の役割について説明を受け、大学の学びを支える仕事への理解を深めました。さらにコラボリウムの見学では、大学ならではの学修環境を体感しました。

最後には、一日の体験を振り返りながら感想文を作成し、参加した子どもたちからは、「名刺交換が楽しかった」「図書館の仕事についてもっと知りたくなった」などの声が寄せられ、働くことへの理解を深める貴重な機会となりました。

元なでしこリーグ選手と考える「違い」と「自分らしさ」 性の多様性（LGBTQ+）研修を開催しました！

本学では、8月27日（木）、ダイバーシティ推進室と人事部人事企画課の連携により、教職員を対象とした「元なでしこリーグ選手と考える『違い』と『自分らしさ』～性の多様性（LGBTQ+）研修～」を開催しました。本研修は、多様な性のあり方への理解を深めるとともに、誰もが自分らしく過ごせる大学づくりについて考える機会として実施したものです。



講師として、水天一碧株式会社代表取締役の大嶋悠生氏が登壇。同氏は元なでしこリーグ選手として活躍した経歴を持ち、現在は企業や官公庁、教育機関などでダイバーシティ推進に関する研修や講演活動を行っています。

研修では、LGBTQ+に関する基礎知識に加え、多様性やアンコンシャスバイアス（無意識の思い込み）、DE&Iの考え方やLGBTQ+当事者を支援する「ALLY（アライ）」について学びました。

後半には、自分の中にある「当たり前」や「普通」を見つめ直すワークを実施。同氏から「誰もが何らかの当事者であるという前提で、多様な人にとって過ごしやすい社会を考えてほしい」とのメッセージが伝えられ、多様性を身近なテーマとして捉える有意義な機会となりました。

本学では今後も、教職員が仕事と家庭を両立できる環境づくりと多様性への理解を深める取り組みを通じて、誰もが安心して学び、働くことのできる環境づくりを推進してまいります。

2026年度9月入学式・前学期学位授与式を挙行

9月10日(木)に2026年度9月入学式、9月11日(金)に2026年度前学期学位授与式を執り行いました。

前学期学位授与式では、学部卒業生18名、大学院博士前期課程修了生2名、造形短期大学部卒業生4名の計24名に学位記が授与されました。卒業生・修了生は、在学中に培った感性や実践力を胸に、それぞれの新たなステージへと旅立ちました。

また、9月入学式では、大学院博士前期課程に2名が入学し、新たな学びへの第一歩を踏み出しました。



障がい者支援への理解を深める

8月21日(金)本学で、教職員を対象とした学生部による研修会「高等教育における障がいのある学生の支援についてー合理的配慮の必要性ー」を開催しました。

本研修会は、2024年4月の障害者差別解消法改正により、私立大学においても合理的配慮の提供が義務化されたことを受け、教職員の理解促進を目的に企画したものです。

当日は昨年度に引き続き、京都大学学生総合支援機構准教授であり、障害学生支援部門(DRC)部門長、ディスアビリティ・インクルージョンセンター長を務める村田淳氏を講師に迎え、「大学における障害学生支援とは何か」をテーマにした講演を実施しました。「大学とはどのような場所で、何を目的としているのか」という根本的な問いを出発点に、障がいのある学生の権利保障に必要な基本的な理解や実践について学びました。講演内は、合理的配慮提供の必要性やその目的・位置づけ、多様な障がい学生が在学している現状について、具体的な事例を踏まえ、大学で求められる支援のあり方の解説がありました。特に合理的配慮は学生と教員との間で対話を通じて決定していくものであり、全ての学生の学びを保障するためには、各部所が連携して大学全体で組織的に取り組むことが重要であると紹介されました。



保険業務について（お知らせ）

株式会社九産大サービスセンター

この度、金融庁の報告に基づく保険代理店に求められる態勢整備の強化（顧客対応の見直し、アフターフォロー・個人情報保護の強化、コーポレートガバナンスの整備等）に伴い、継続的な事業運営を実施するため、保険事業は2026年10月1日付をもって九電産業株式会社へ譲渡いたします。

教職員・学生の皆様には、長い間ご愛顧いただき誠にありがとうございました。

なお、手続き等に関する相談会を大学内において週2回程度予定しております。

詳細は株式会社九産大サービスセンター HP でお知らせします。

また、保険代理店への直接の連絡は下記連絡先までお願いします。



ご契約取扱代理店の変更について（お知らせ）

九電産業株式会社

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、このたび「株式会社九産大サービスセンター」に代わり、損害保険のお取扱いをさせていただくこととなりました、保険代理店の「九電産業株式会社（九州電力グループ）」と申します。

現在、お客様にご契約いただいております保険契約につきましては、2026年10月1日より、弊社が責任をもってご対応させていただきますので、変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

今後、保険契約の見直し、保険契約内容の変更、保険金ご請求のご相談などにつきましては、下記までお気軽にご連絡いただきますようお願い申し上げます。

まずは略式ながら、お知らせかたがたご挨拶申し上げます。

敬具

記

【ご注意】

弊社では保険会社指導の下、保険料のお支払いは口座振替、クレジットカードやコンビニなどでの払込み及び指定口座へのお振込みなど、キャッシュレスでのお取り扱いとなりますので、恐れ入りますがあらかじめご了承くださいようお願い申し上げます。

【本件に関するご連絡先】

2026年10月1日以降のご連絡先

九電産業株式会社 保険部 営業第二グループ

所在地 福岡市中央区渡辺通2丁目1番82号

電気ビル北館4階

連絡先 0120-400-824

受付時間 月曜日～金曜日 9:30～16:30

（土日、祝日、年末年始を除く）



ホームページリニューアル

#トップページを全面刷新 #スマホファースト対応

#ブランドデザイン統一 #約70ページを再構築 #見やすさの向上

学園報 No.519 / 2026.9.30